

インダストリアルグローバルユニオン 化学産業世界会議

2015年5月6-7日、ドイツ、ハノーバー

アクションプラン

前置き

2015年5月6-7日、ドイツ、ハノーバーにおけるインダストリアルグローバルユニオン化学産業世界会議で、世界全大陸から集まった代議員は、以下のアクションプランの取り組みを約束し、世界の化学・製薬産業の労働者の権利と利益を守るための権利および義務を宣言する。

1. 世界中の組合の力を構築する:

- 全ての地域の化学・製薬産業における組合組織化に焦点を当て、組合密度を高め、団体交渉権と社会対話を向上させる。インダストリアルと本産業の加盟組合は、組織化およびキャンペーンで組合の力と連帯を集約し、発展させるためにあらゆる努力を結集する。
- 未組織労働者、不安定雇用労働者、女性および若年労働者、専門的(ホワイトカラー)労働者、そして未だ労働協約の保護の恩恵を受けていない労働者に手を差し伸べる。
- 本産業において強力な、民主的な、独立した、代表的な、持続可能な労働組合の発展を支援する。
- 会議、ワークショップ、キャンペーンを通じて世界、地域、現地レベルで労働者と組合間の調和を図る。

2. グローバル資本に対峙する

- 化学・製薬部門でディーセントワークの権利を求めて政府や使用者と闘う加盟組合を支援する。
- 同じ多国籍企業あるいは関連の多国籍企業の労働組合ネットワークを通じて加盟組合間の連帯を強化する；インダストリアルとその加盟組合は、世界、地域、全国レベルの労働組合ネットワークを優先事項とし、その支援を行う。会社ネットワークに加え、インダストリアルはグローバル製薬労働者ネットワークを引き続き認める。
- 本産業の現行グローバル枠組み協定の規定、監視、実施を向上、強化し、可能な限り新しい協定を交渉する機会を探っていく。
- TTIP, TPP, SITA などの貿易協定とその化学・製薬部門に対する影響の可能性に特別に注意を払い、グローバル統治機関における労働者の発言権を強める：インダストリアルグローバルユニオンは、TTIP に関して、姉妹組織のインダストリアル欧州労働組との協力を続け、化学・製薬部門に関するこれら貿易協定の発展について加盟組合に定期的に情報を提供する。

3. 労働者の権利を擁護する

- 必要な場合、労働者の基本的権利を尊重しないはなはだしい侵害を行う多国籍の化学・製薬会社に対し、その価値連鎖全体の関連企業も含め、キャンペーンを立ち上げる能力をつける。
- あらゆる地域で、労働者の権利に対する攻撃に連帯活動を始める。
- 化学・製薬産業の使用者の国際水準および国際的期待の順守を確実にするために、必要に応じて、国連、ILO、OECDなどの政府間機関および国際機関を活用する。
- 化学・製薬産業で労働者の権利を保護し、強化し、社会対話を発展させるメカニズムとしてILO産業別活動を引き続き使用する。
- 女性団体や他の均等を求める団体の完全な参加に対するあらゆる差別的障害をなくすよう求め、労働組合活動に彼らが労働組合活動に完全に力強く参加することを可能にする。

4. 不安定雇用に対して闘う

- セクターおよび会社レベルの特別調査を通じてセクターの現象を分析解明する。セクター規模のコミュニケーションを通じて意識向上を図る。
- 加盟労組にインダストリアルオール『不安定雇用に対する闘いキャンペーン』への参加を奨励する。
- 不安定雇用労働者を労働協約の適用から制限する条項の廃止、少なくとも最小限度に抑えるようにする。インダストリアルオールは、セクター全体で、これに関する最良の慣行、成果を交換するためのコミュニケーションを行う。

5. 持続可能な産業雇用を確保する

- 持続可能な問題の意識向上を図り、持続可能な化学・製薬産業を確保するための政策と計画の開発に加盟組合の継続的参加を奨励する。
- 世界、地域、現地レベルで、化学・製薬産業の産業政策開発と実施の目的と全体像に影響を与える。
- 持続可能な産業政策の加盟組合の共通見解を作りあげる。
- インダストリアルオールの他のセクター、特にエネルギーセクターとの持続可能な戦略の相乗効果を調べる。
- 化学・製薬産業の社会的費用便益を含む社会的、環境的影響に焦点を当てる。
- 持続可能な産業開発に関する加盟組合独自の構想を発展させ、実施する能力を構築する。
- 労働安全衛生と環境の保護のためのより良い国際的、全国、地域の法令、規制枠組みを探る。
- 国際化学使用者協会と定期的な交流と対話を維持し、世界規模の主要テーマを見つけるために持続性に関して覚書を交わすよう務める。
- 仕事のあらゆる危険性について知り、仕事を安全に行うために教育研修を受ける権利、危険な仕事を拒否、あるいは閉鎖する権利、あらゆる安全衛生政策、計画、リスクアセスメント、仕事手続きの開発と実施の全面的なパートナーになる権利を十分に認識することを通じ、化学・製薬労働者の安全衛生の十分な保護を主張する。

結論

このアクションプランを実施する上で、インダストリアルオールとその加盟組合は、影響を及ぼすために明確な目標と望ましい結果を定め、そして組織化と強力な組合構築という構成要素を入れる。

21 世紀のグローバル化経済において、グローバルな労働組合権はかつてないほど重要になっている。インダストリアルグローバルユニオンとその加盟組合は、これらの権利が脅かされ続けている間、休むことはしない。

一人の負傷は、私たち皆の負傷である。